

令和6年度用 小学校 図画工作 教科書 年間指導計画例

1. 題材配列の基本的な考え方

教科書の各学年における題材は、発達の段階に応じて実践に適切な季節及び行事との関係、内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）や学習指導要領で扱われる材料・用具によって系統的に構成され、カリキュラム順に配列されています。また、学習指導要領で「教科の目標」として示されている三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育てられるように6年間を通して考えられています。

2. 3学期制、2学期制のカリキュラムについて

1で述べたように、教科書の題材配列はカリキュラム順を意識していますので、基本的にはページの順番に学習することが可能です。したがって、各学年の年間指導計画例では、教科書のページ順に示しています。しかし、たとえば、学校行事などに合わせる場合や、学期をまたがないように題材を終了させたい場合などは適宜学習の順番を入れ替えて使用することを推奨します。また、いくつかの題材は選択題材の扱いとしています。児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、各学校や児童の実態に合わせて、自由に選択したり、計画を修正したりしてご活用ください。なお、本指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。

3. 凡例

活動の内容は以下のように示しました。なお、表現と鑑賞は一体的に扱われるものであるため、表現題材の中での鑑賞活動や、鑑賞と一体的に扱われる表現活動などは、共通的に理解されているものとして、煩雑になるのを避けてあえて記さず、その題材での中心的な内容のみを示しています。

〔遊〕＝造形遊びをする活動

〔絵〕＝絵に表す活動 / 〔絵・版〕＝版に表す活動

〔立〕＝立体に表す活動

〔工〕＝工作に表す活動

〔鑑〕＝鑑賞する活動

また、育てたい三つの資質・能力はすべての題材でかかわってきますが、その題材で特に大切にしたい目標を表しています。

●＝「形や色、方法や材料を知って、工夫する力」

●＝「ためしたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」

●＝「心を開いて楽しく活動し、友達とかかわり、協力し合う力」

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。



■第1学年の年間指導計画(案) (年間授業時間数68時間)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68	3学期制 2学期制	1学期 22時間 2学期 28時間 3学期 18時間	前期 34時間 後期 34時間	時数	題材名	内容	学習指導要領との関連						
							A表現(1)		A表現(2)		B鑑賞(1)	[共通事項]	
							ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ
				2	●すきなもの いっぱい	[絵]		○		○		○	○
				2	●おしえて みんなの すきなもの	[鑑]					○	○	○
				2	●ねんどと なかよし	[遊]	○		○			○	○
				2	●すきなもの いろいろあるね	[立]		○		○		○	○
				2	●ならべて みつけて	[遊]	○		○			○	○
				4	●チョッキン パツで かざろう	[工]		○		○		○	○
				2	●さわって まげて きもちいい	[絵]		○		○		○	○
				4	●ひかりの くにの なかまたち	[工]		○		○		○	○
				2	●すいすい ぐるーり	[絵]		○		○		○	○
				2	●スタンプべったん	[遊]	○		○			○	○
				2	●あそぼうよ バクバクさん	[工]		○		○		○	○
				2	●こすりだしから うまれたよ	[絵・版]	○		○			○	○
				4	●うきうきボックス	[工]		○		○		○	○
				2	●いろいろな ともだち はなしだす	[立]		○		○		○	○
				2	●だいすき! わくわくペーパー	[遊]	○		○			○	○
				4	●ふわっと ぎゅっと おはながみの え	[絵]		○		○		○	○
				4	●おしらせします! にっこりニュース	[絵]		○		○		○	○
				4	●くしゃくしゃ だいへんしん	[立]		○		○		○	○
				2	●ふわっ ふわっ ゴー	[工]		○		○		○	○
				4	●つくって へんしん	[工]		○		○		○	○
				4	●できたらいいな こんなこと	[絵]		○		○		○	○
				4	●はこと はこを くみあわせて	[立]		○		○		○	○
				6	●ようこそ あたらしい1ねんせい	[工]		○		○		○	○

第1学年の年間授業時間数	68
絵や立体に表す活動に配当する時間数	32
工作に表す活動に配当する時間数	26
その他の活動(造形遊び、鑑賞)に配当する時間数	10

題材ごとの観点別評価規準

1. 観点別評価規準の基本的な考え方

本資料には、令和6年度版「図画工作」での年間指導計画作成の際に必要な題材ごとの評価規準を記載しています。評価規準は、児童が題材の学習を通して身につける資質・能力の状況を題材ごとに学習内容に基づいて表したものです。地域や児童・学校の実情に応じて評価・評定にお役立てください。

平成29年の学習指導要領改訂に関わって、評価の観点が3観点に整理されました。本資料においては、「観点別評価規準」とあわせて先生方の利便性を考慮し、あくまで一例ではありますが、「十分満足できると考えられる具体的な姿の例」を掲載しました。

教科書においては、題材ごとの目標を児童に向けて「学習のめあて」として示し、中心となる課題を「特に大切なめあて」として強調して示しています。本資料においても「☆」マークで強調して示し、「特に大切なめあて」として強調して示した項目に関連して作成しています。

2. 凡例

本資料において、「学習のめあて」を以下の項目で示しました。

知：「知識及び技能」に関する目標

思：「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

学：「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

また、「観点別評価規準」を以下の項目で示しました。

知：知識の観点

技：技能の観点

発：発想・構想の観点

鑑：鑑賞の観点

主：主体的に学習に取り組む態度の観点

なお、本資料においては、1単位時間を45分として扱っています。

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
すきなもののいっぱい	絵	2	食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。	知 形や色を工夫する。	知 好きなものを描く活動を通して、クレヨンやパスなどの色に気づいている。	思いつくままに、たくさん絵を描くとともに、描いた絵について友達と交流しながら、さらに自分から好きなものを見つけてたのしく描く学習活動に取り組もうとしている。	クレヨン、パス、画用紙など
				技	技 クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				発	発 好きなものを思い浮かべ、表したいことを見つけたり、好きな色や画用紙の形を考えたりしながら、どのように表すか考えている。		
				鑑	鑑 自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。		
				主	主 ☆ 学 好きなものをたくさん描いてたのしむ。描くことの喜びを味わい、好きなものを思いつくままに、描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
おしえて みんなの すきなもの	鑑	2	自分や友達が描いたものを見せ合う。	知 いろいろな形や色があることに気づく。	知 自分や友達の描いた好きなものを見ることを通して、いろいろな形や色に気づいている。	友達の好きなものを知ったり、描いたものを見たりして友達のことを知ろうと積極的に絵を見たり、対話を広げようとしたりし、自分や友達の描いたものの形や色の造形的な面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げている。	作品など
				技	技		
				発	発 ☆ 思 好きなものや描きたいものをたくさん見つける。		
				鑑	鑑 自分や友達の描いたものの造形的な面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を広げている。		
				主	主 学 友達の描いた好きなものを見てたのしむ。友達の描いた好きなものを見ることを通して、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
ねんどと なかよし	遊	2	粘土を触ってたのしく活動する。	知 手をしっかり使って、粘土をいろいろな形に変える。	知 粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気づいている。	さまざまな行為で粘土と関わり、できた形を並べたり積んだりして粘土を触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように表すか考えている。	土粘土、粘土板、タオルなど
				技	技 丸める、のばす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。		
				発	発 粘土を触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように表すか考えている。		
				鑑	鑑 ☆ 思 粘土でどんなことができるか考える。自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				主	主		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
				学	主			
すきなもの いろいろ あるね	立	2	土粘土に触れ合いながらつくりたいものをつくる。	学 粘土の触り心地をたのしむ。	主 粘土の触り心地を味わい、粘土のできる活動を考えたり、いろいろな形を見つける学習活動にたのしく取り組もうとしている。	粘土で好きなものをたくさんつくことに興味をもち、粘土の心地よい感触を味わい、粘土で好きなものをたくさんつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	土粘土、粘土板、タオルなど	
				知 粘土でいろいろなもののつくり方を工夫する。	知 いろいろな表し方から生まれる粘土の形に気づいている。			
				技 粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。			
				思 粘土でつくりたいものをいろいろ考える。	発 これまでの経験や想像したことをもとに、粘土でつくりたいことを思いつき、どのように表すか考えている。			
				鑑 自分や友達の作品の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の作品の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。			
☆学	主	粘土でたくさんつくことをたのしむ。	主 粘土の心地よい感触を味わい、粘土で好きなものをたくさんつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
ならべて みつけて	遊	2	材料の形や色をもとに発想し、材料の並べ方を考えながら活動する。	知 身近な材料の並べ方を工夫する。	知 いろいろな材料を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気づいている。	材料と積極的に関わりながら、その形や色、大きさなどの特徴を感じ取り、並べ方を工夫しながら、並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。	色紙、カップ、割り箸、キャップなど	
				技 並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。			
				☆思	発			いろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から、並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	鑑			いろいろな材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学	主			並べてできる形や色をたのしむ。
チョッキンパッドでかざろう	工	4	折った色紙を切って開くとできる形をつなげて飾る。	☆知	知 紙の折り方や切り方を工夫する。	折り方や切り方によってできる形や色の組み合わせを見つけて、新たな形に気づくとともに、折り方や切り方などをさまざまに試しながら、工夫して表している。	色紙、のり、はさみなど	
				技	技 折り方や切り方などをさまざまに試しながら、工夫して表している。			
				発	発 自分のイメージをもちながら、折り方や切り方、色の組み合わせなどについて、どのように表すか考えている。			
			思	思 切った形や色の組み合わせを考える				

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
					知	主		
				心 自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 つくったり飾ったりすることをたのしむ。	主	折り方や切り方、色の組み合わせによって、いろいろな形や色の感じがあることに興味をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
さわってまぜてきもちいい	絵	2	手や指を使って絵の具で描くたのしさや気持ちよさを味わう。	知 手や指を使った描き方を工夫する。	知	手や指で描くことを通して、触った感じや絵の具の跡の形や色の違いに気づいている。	とろとろ絵の具の気持ちよさを味わい、手や指につけてのびのびと描いたり塗ったりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。	液体粘土、共同絵の具、画用紙、色画用紙、カップ、新聞紙、タオルなど
				技 手や指、体全体を動かす勢いや速さ、強さを変えるなど、手の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技	手や指、体全体を動かす勢いや速さ、強さを変えるなど、手の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				思 とろとろ絵の具で描きたいことやものを考える。	発	手や指で思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことやものを見つけて、どのように表すか考えている。		
				鑑	とろとろ絵の具の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。			
				主 ☆学 触って描く気持ちよさをたのしむ。	主	とろとろ絵の具の気持ちよさを味わい、手や指につけて描いたり塗ったりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
ひかりのくにのなかまたち	工	4	色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆知 袋の形や色セロハンの色を工夫する。	知	材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色に気づいている。	材料や作品などを光に透かしてかざして色の違いなどをたのしみ、光が透過する形や色の面白さに気づくとともに、袋の形を変えたり、中に入れる材料をいくつか組み合わせたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	色セロハン、ビニル袋、モール、セロハンテープ、接着剤など
				技 袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	技	袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。		
				思 光を通す材料からつくりたいものを考える。	発	材料の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
				鑑	自分や友達の作品の形や色の面白さ、たのしさなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。			
				学 たのしくつくって飾る。	主	光を通した材料の美しさや面白さに関心をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
				知 線の描き方や色の使い方を工夫する。	知	共同絵の具で表す線の跡や動きから、形や色などに気づいている。	好きな色を自分から選んだり、筆の動かし方や描き方を考えたりして、心を開いて絵の具を筆で塗る快さを体全体で十分に味わい、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	共同絵の具、画用紙、筆、新聞紙、タオルなど
				技 共同絵の具の扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技	共同絵の具の扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
すいすいぐるーり	絵	2	筆の軌跡や線の動きから、感じたことや思いついたことを自由に表す。	<p>思 線のいい感じを見つける。</p> <p>☆ 学 のびのびと描くことをたのしむ。</p>	<p>発 好きな色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 共同絵の具でのびのびと描く心地よさを味わい、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>		
スタンプべったん	遊	2	身近な材料を使って、形を見つけながらスタンプする。	<p>知 写す形や色の組み合わせを工夫する。</p> <p>思 写しながら形を見つける。</p> <p>☆ 学 友達とスタンプ遊びをたのしむ。</p>	<p>知 いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色などに気づいている。</p> <p>技 手や体全体の感覚を働かせながら、スタンプをする活動を工夫してつくっている。</p> <p>発 身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。</p> <p>鑑 写された形や色から自分のイメージをもって、見ることをたのしんでいる。</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい、スタンプをする学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	友達といっしょにいろいろなスタンプを使い、形を写す活動をたのしみながら、表された形や色を見て、組み合わせ方を工夫したり、自分のイメージをもってみたりして、つくりだす喜びを味わい、スタンプをする学習活動にたのしく取り組もうとしている。	共同絵の具、身近なものなど
あそぼうよ パクパクさん	工	2	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。	<p>☆ 知 表したいことに合わせて切り方や貼り方を工夫する。</p> <p>思 動かしたのしいパクパクさんを考える。</p> <p>学 パクパクさんで遊ぶことをたのしむ。</p>	<p>知 パクパクと動く様子から、つくりたいものを工作に表すことを通して、形や色などに気づいている。</p> <p>技 色画用紙や接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p> <p>発 パクパクと動く様子をもとにして、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさを、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい、パクパクと動く様子をもとにしてつくりたいものを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	パクパクと動く様子から、つくりたいものを工作に表すことを通して、形や色などに気づくとともに、色画用紙や接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに自分ならではのこだわりをもって表し方を工夫している。	色画用紙、色紙、接着剤、はさみなど
				<p>☆ 知 身のまわりにあるでこぼこを探してこすりだ</p>	<p>知 凸凹をこすりだす活動を通して、クレヨンやパスで表される模様の形や色などに気づいている。</p>	凸凹をこすりだす活動を通して、クレヨンやパスで表される模様の形や色などに気づき、クレヨンやパスの使い方に十分に慣れ、こすりだしを試しながら表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	クレヨン、パス、上質紙、版画用紙など

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
こすりだしから うまれたよ	絵・版	2	こすりだした模様や色から工夫して表現する。	す。	技 クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	
				思 こすりだしをして表したいことを考える。	発 こすりだしをする活動を通して、見えてきた形や色から表したいことや表したいものを見つけて、どのように表すか考えている。		
					鑑 自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 クレヨンやパスでこすりだしをたのしむ。	主 クレヨンやパスで凸凹をこすりだす学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
うきうきボックス	工	4	紙箱の形を変えたり飾りをつけたりしてつくりたいものをつくる。	☆ 知 箱の飾り方を工夫する。	知 箱の飾りつけを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、形や色に気づいている。	箱の飾りつけを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、形や色に気づくとともに、空き箱の形や色の特徴からつくりたいものを思いつき、箱の形や模様や機能を生かし、表し方を自分なりに工夫して表している。	空き箱、色画用紙、身近な材料、接着剤、クレヨン、パス、カラーペン、はさみなど
					技 箱の形や色を生かした飾りつけをするなど、表し方を工夫して表している。		
				思 箱の形を生かした飾りを考える。	発 空き箱の形や色をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑 箱の形や色を生かした飾り方の工夫について感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
	学 箱をたのしく飾る。	主 空き箱を飾ることに関心をもち、空き箱で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
いろんなともだちはなしだす	立	2	型押しをした紙粘土をもとに顔をつくる。	知 型押しのかたや顔のつくり方を工夫する。	知 粘土を型押しすることを通して、できた形や色などに気づいている。	型押しをしてできた粘土の形から想像を広げて、いろいろな表情や顔の面白さなど、表したいことを考えている。	紙粘土、粘土べら、粘土板、タオルなど
					技 型押しをすることや粘土べらを使ってつくることを通して粘土に慣れるとともに、表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 どんな顔にするか考える。	発 型押しのできた粘土の形から想像して、どのように表すか考えている。		
					鑑 つくった友達でお話することから、造形的な面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
	学 顔をつくったり、粘土の友達でお話したりすることをたのしむ。	主 粘土で顔をつくったり、粘土の友達でお話したりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。					

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
だいすき！わくわくペーパー	遊	2	大きな紙の触り心地や大きさなどの特徴を感じながら体全体を使って活動する。	知 いろいろな遊び方をして、紙の特徴に気づく。	知 紙を優しく触ったり、歩きながら紙をなびかせたりして紙の特徴に気づいている。	紙の特徴を感じ取り、体全体を使って紙と仲良く遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。	薄葉紙、紙の粘着テープなど
				技 紙と仲良くできるいろいろな遊び方をして活動を工夫してつくっている。	技 紙と仲良くできるいろいろな遊び方をして活動を工夫してつくっている。		
				発 大きな紙を使ったたのしい遊びを考える。	発 紙を使って、どのようにたのしく遊ぶか考えている。		
				鑑 大きな紙を使ったたのしい遊びを考える。	鑑 紙の大きさ、触った感じなどの面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
☆学 体全体を使って、紙で遊ぶことをたのしむ。	主 体全体を使って、紙で遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。	主 体全体を使って、紙で遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
ふわっとぎゅっとおはながみのえ	絵	4	丸めたり、ちぎったりしたお花紙を、並べたり重ねたりして絵に表す。	知 お花紙の形や、並べたり重ねたりする組み合わせを工夫する。	知 材料の形を変えたり貼り重ねたりすることを通して、材料のもつ形や色、触った感じに気づいている。	材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動に積極的に取り組もうとしている。	お花紙、画用紙、色画用紙、洗濯のり、トレイ、タオルなど
				技 お花紙の形や、並べたり重ねたりする組み合わせを工夫する。	技 材料の特徴を生かした形のつくり方や重ね方、貼り方を試しながら、表したいことをもとに工夫して表している。		
				発 お花紙の形や、並べたり重ねたりする組み合わせを工夫する。	発 貼り重ねた材料の形や色から表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑 お花紙の形や、並べたり重ねたりする組み合わせを工夫する。	鑑 お花紙の面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
☆学 材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	主 材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	主 材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
おしらせします！にっこりニュース	絵	4	たのしかったことやうれしかったことを絵に表す。	☆知 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	知 クレヨンやパスなどの身近な材料を使って描く活動を通して、表したいものの形や色に気づいている。	クレヨンやパスなどの身近な材料を使い描く活動を通して、表したいものの形や色に気づくとともに、クレヨンやパスの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	クレヨン、色鉛筆、画用紙など
				技 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	技 クレヨンやパスの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				発 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	発 日常生活の中で感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	鑑 自分や友達の作品を鑑賞することを通して、造形的面白さやたのしさ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
☆学 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	主 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	主 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。					

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
				学	主				
くしゃくしゃ だいへんしん	立	4	くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表す。	学	みんなに知らせたいことをたのしく描く。	主	日常の出来事をたのしく描き、友達に知らせる学習活動にたのしく取り組みようとしている。	色薄紙に働きかけることで生まれるさまざまな形や色、触った感じから、それらをもとに豊かにイメージを広げて、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。	色薄紙、のりなど
				知	くしゃくしゃにした紙の形や色、組み合わせを工夫する。	知	色薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色などに気づいている。		
				技		技	表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。		
				☆思	くしゃくしゃにした紙の形からつくりたいものを考える。	発	くしゃくしゃにした色薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。		
				鑑		鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したものの表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
学	紙の触り心地を味わいながらつくることをたのしむ。	主	くしゃくしゃにした色薄紙から形を見つけて表す学習活動にたのしく取り組みようとしている。						
ふわっふわっ ゴー	工	2	うちわであおぐと風で動いたのしいおもちゃを考えてつくる。	☆知	スチレン容器の切り方や飾りを工夫する。	知	つくったり互いの作品で遊んだりすることを通して、飾りの形や色に気づいている。	つくったり互いの作品で遊んだりすることを通して、飾りの形や色、風で動く面白さに気づくとともに、材料の形や動きの特徴を生かして、飾りをつけたり、模様を描いたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	スチレン容器、色紙、毛糸、セロハンテープ、両面テープ、カラーペン、はさみ、うちわなど
				技		技	動きの特徴を生かした飾りをつけたり、模様を描いたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				思	動き方から、つくりたいおもちゃを考える。	発	風で動く仕組みや動きの特徴をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
				鑑		鑑	互いの作品で遊ぶことを通して、動き方の面白さや飾りのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
学	つくったり遊んだりしてたのしむ。	主	風で動くおもちゃをつくる学習活動にたのしく取り組みようとしている。						
つくって へんしん	工	4	さまざまな材料を選んだり組み合わせたりしながらつくり、身に付けてたのしむ。	知	変身グッズのつくり方を工夫する。	知	変身グッズをつくることを通して、形や色などに気づいている。	変身したいものに合わせた変身グッズのつくり方や飾りつけの方法を工夫してつくることや、変身する学習活動にたのしく取り組みようとしている。	色画用紙、色紙、クラフト紙、接着剤、両面テープ、のり、ホチキス、はさみなど
				技		技	変身グッズのつくり方や飾りつけの方法などをいろいろ試しながら、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				思	変身したいものを考える	発	自分が変身してみたいものに合わせた変身グッズを思いつき、どのように表すか考えている。		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
					知	主		
				心 変身グッズをつくり、遊んだりすることをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	主 変身したいものに合わせた変身グッズをつくることや、変身する学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
できたらいい こんなこと	絵	4	できたらいいと思うことを考えて絵に表す。	知 思いついたことに合わせて、描き方を工夫する。	知 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれているものの形や色に気づいている。	技 伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。	経験したことや想像したことをもとに自分らしい「やってみよう」を思いつき、表したいことが効果的に伝わるように、表すものの形や色、描き方など、どのように表すか考えている。	クレヨン、パス、共同 絵の具、画用紙など
				☆ 思 できたらいいと思うことを考える。	発 経験したことや想像したことをもとに「やってみよう」を思いつき、どのように表すか考えている。	鑑 友達が想像した「ゆめのたしざん」のたのしさや、表し方のよさや違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 想像を広げて描くことをたのしむ。	主 経験したことから自由に想像を広げて、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
はことはこをくみあわせて	立	4	空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。	知 箱の組み合わせやつけ方を工夫する。	知 いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色に気づいている。	技 紙箱の組み合わせ方や飾りつけ、接着の方法など、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	箱の形や構造、色などの特徴をもとに、つくりたいものを思いつき、効果的な組み合わせなど、どのように表すか考えている。	空き箱、色紙、接着剤、セロハンテープ、両面テープ、カラーペン、はさみなど
				☆ 思 箱を組み合わせてつくりたいものを考える。	発 紙箱の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	鑑 自分や友達の作品を鑑賞したり、作品で遊んだりすることを通して、造形的面白さやたのしさ、表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 箱を組み合わせてつくることをたのしむ。	主 箱を組み合わせることで、いろいろな形ができることに興味をもち、箱を組み合わせてつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
				知 形や色を工夫してつくり飾ったりする。	知 伝えたい気持ちを表すために、思いついたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気づいている。	技 はさみやのりなどの接着剤、ビニルや色紙などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	つくりだす喜びを十分に味わい、心を込めて伝えたい気持ちを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	今までに使ったいろいろな材料など

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ようこそ あたらしい 1ねんせい	工	6	友達と関わり合いながら自分の気持ちを伝える作品をつくって飾る。	思 見た人がたのしくなるようなものを考える。	伝えたい気持ちから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。		
					鑑 自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学 心を込めてつくり、自分の気持ちを伝える。	主 作りだす喜びを味わい、伝えたい気持ちを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		